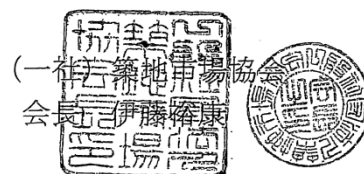


築地市場の豊洲市場への移転について、小池東京都知事が8月31日に移転時期を延期する考えを明らかにしましたので、同日、築地市場の事業者で組織する当協会は、以下の「豊洲市場への移転延期再考の要望」を提出いたしました。

平成28年8月31日

東京都知事
小池百合子 様



豊洲市場への移転延期再考の要望

初秋の候、ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

平素は、築地市場及び当協会の運営に関して、格別のご指導、ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、都知事におかれましてはこの度、すでに平成28年11月7日と決定していた豊洲市場への移転の延期を明らかにされましたが、業界といたしましては、非常に困惑しております。これまで長年の間、豊洲市場の整備に関して御都と幾度となく協議を重ね、施設の完成を目指して尽力してまいりました。また、豊洲市場への移転日は、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を鑑み、御都との十分な話し合いによって決定されたものです。

しかしながら、今回の移転延期により、卸売市場の機能が消費者の皆様のご期待に応えられるのか、大変不安であります。

もとより、業界といたしましては、11月7日の開場を混乱なく迎えられ、その直後の最大の繁忙期である年末年始に生鮮食料品が消費者の皆様のお手元にスムーズにお届けできるように、豊洲市場でハード・ソフトを含めた事務設備及び物流施設の整備を進めてまいりました。また、場内の物流については現在、築地市場の業務と並行して運用・習熟訓練を行っているところです。

一方、築地市場では、11月2日の営業終了をもって廃業や従業員の雇止め、リース物件の解約などをすでに決定した経営体も多数あり、都知事のこの度のご判断は多くの混乱を招いております。

言うまでもなく生鮮食料品の安定的な供給は物流・商流を担う私ども業界の責務であり、今後とも、円滑な流通の為に業界としてその使命を果たしていく決意でございます。都知事におかれましては、こうした状況をご賢察いただき、11月7日の移転に向け特段のご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。